

短大特任教員教育研究業績書

平成30年 4月 18日

氏名	ふりがな	所属	職 位	性別
水野 恵理子	みずの えりこ	保育学科 通信教育課程	教授・ 准教授 ・講師・助教	男・ ♀
担当科目名				
障害児保育Ⅱ				
学 歴				
和暦(西暦)年 月	事 項			学位
1973年4月	神戸大学文学部哲学科入学			
1977年3月	神戸大学文学部哲学科卒業			学士(文学)
2008年4月	奈良女子大学人間文化研究科社会生活環境学専攻 博士後期課程入学			
2011年3月	奈良女子大学人間文化研究科社会生活環境学専攻 博士後期課程修了			博士(学術)
教育歴・職歴				
名 称	期 間	教育内容又は業務内容		
近畿大学医学部附属病院	2006年4月より 現在	小児心療内科非常勤講師(ミュージックセラピー)		
学校法人三幸学園 大阪こども専門学校	2013年4月より 2016年3月	非常勤講師(発達心理学・子育て心理学)		
太成学院大学	2015年9月より	非常勤講師(障害児心理学)		
大手前短期大学	2016年4月より	非常勤講師(ミュージックセラピー演習)		
小田原短期大学	2016年4月より	保育学科 通信教育課程 准教授 (基礎学力演習Ⅰ、障害児保育Ⅱ)		
所 属 学 会 等				
名 称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)		
日本音楽療法学会	2001年4月～ 現在	大会参加・地方大会実行委員・論文発表・口頭発表・ラウンドテーブル・ワークショップ・ポスター発表		
日本小児心身医学会	2007年4月～	大会参加・口頭発表・セミナー開催		
日本特殊教育学会	2011年4月～	大会参加・英文誌論文発表		
日本音楽医療研究会	2011年4月～	大会参加・口頭発表・ポスター発表		
日本保育者養成教育学会	2016年9月～	ポスター発表		
日本保育学会	2016年5月～			
社 会 活 動 等				
名 称	活動期間	活 動 内 容		
ドイツ・ハイデルベルク大学ビクター研究所	2004年3月	ドイツ・ハイデルベルク大学音楽療法研究所の視察・音楽療法検討会		
「障害理解学習」ゲストティーチャー	2006年11月	奈良教育大学附属中学校にて障害を持つ人と音楽について講演		
2007年度大学院教育改革支援プログラム「プロジェクト型研究提案」	2007年10月～ 2008年3月	奈良先端科学技術大学院大学において円滑な社会還元を目指した障害者支援研究の方法論に関する研究		
奈良女子大学スポーツ科学フォローアップ講座	2008年9月	奈良女子大学にて、高齢者と音楽療法についてワークショップを行う		

奈良先端科学技術大学情報科学研究科と共同研究	2009年～2014年	音楽活動が知的障がい者の記憶能力向上に及ぼす影響について研究
特定非営利活動法人アゴラ音楽クラブ(代表)	2011年12月より現在	知的障がい児・者の音楽活動支援および音楽の療法的効用に関する研究
ドイツ ミュンヘン・フライエスムジークツェントラムにて公開講座	2013年3月	知的障がい者の能力向上を促す音楽活動について精神生理学的見地から報告
イギリス・ロンドン特別支援学校にてワークショップ	2014年3月	障がい特性に合わせた和太鼓療法
ベトナム ホーチミン市師範大学及びホン・バン国際大学特別授業	2016年3月	日本語科学生対象に日本文化紹介
ベトナム ホーチミン市師範大学にて集中講義	2016年9月 2017年3月 2018年3月	特別支援教育課にて、障がい児を対象とする音楽療法講座及びワークショップを開催
ベトナム Binh An 特別支援学校にて講座	2017年3月	Binh An 特別支援学校の教員対象に音楽療法講座を開催

担当教科目に関する資格・免許等

名称	取得年月	取得機関
中学校教諭1級普通免許状(社会)	1984年12月	奈良県
高等学校教諭2級普通免許状(社会)	1984年12月	奈良県
日本音楽療法学会認定音楽療法士	2009年3月	日本音楽療法学会
博士(学術)	2011年3月	奈良女子大学

研究実績に関する事項

代表的な著書、論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1. 保育園、幼稚園、特別支援教育の現場ではじめよう、心とからだを育てる和太鼓	単著	2018年3月	かもがわ出版	全身で生き生き表現できる和太鼓は、障がいのある子どもも取り組みやすく、コミュニケーションを育てるには効果的な楽器である。本書は初心者でも幼稚園や保育園で教えられる手引き書。
2. 幼児教育における表現Ⅰ〈理論的研究〉	共著	2018年1月	株式会社三恵社 pp. 29-34	おおぜいの幼児を対象とする幼稚園教育の中で、コミュニケーションがとりづらい子どもに注意を払い、集団行動への参加を促すために必要なことは何か。インクルーシブ教育システムの視点から取り組むべき課題について考察した。
3. 幼児教育における表現Ⅱ〈実践的研究〉	共著	2018年1月	株式会社三恵社 pp. 35-40	「健康・身体づくりに役立つ」「友だちと関わり、協力する心を養う」また「発達に遅れがある園児も参加しやすい」と報告された和太鼓指導について、求められるスキルを獲得するための授業プログラムを作成、実践した。

(学術論文) 1.9 番染色体短腕欠損症 Yさんの音楽療法 — 安定した発声をめざし て—	単著	2010年2月	近畿音楽療法学会誌 Vol.8, 85-90	重度の精神発達遅滞を伴う9番染色体短腕欠損症児に対し身体動作やスパーク布を利用した呼吸法による発声訓練、melodic wordsを用いた発語訓練を行った事例研究
2. コミュニケーション能力 向上における音楽の役割 —知的障害者授産施設 の保護者を対象にした 調査	単著	2010年3月	奈良女子大学人間文化 研究科年報 第25 巻, 247-256	知的障がい者授産施設Kの保護者からみた対象者の音楽に対する反応や気分の変化についてのアンケート調査結果
3. Communication Disorder and Music— from a questionnaire survey of the guardians of mentally	単著	2010年8月	Asian Congress of Health Psychology (full paper for proceedings)	知的障がい者授産施設A・Rの保護者からみた対象者の音楽に対する反応や気分の変化についてのアンケート調査結果
4. 和太鼓活動で見られた 知的障がい者の相互関係 —和太鼓演奏の動作分析 結果より—	共著	2010年9月	第27回認知科学会論 文集 (full paper for proceedings, 319-324)	知的障がい者の和太鼓チーム活動における相互関係を2者間のリズム同期、チームメンバーの気分調査により考察。
5. 自閉症児(者)の言語 コミュニケーション能力 改善における Melodic Intonation Therapy の応 用	単著	2011年3月	奈良女子大学人間文化 研究科年報 第26 号 pp. 195-202	自閉症児(者)対象に話し言葉・メロディーを付けた言葉の聴取時の脳波を計測し、言葉の知覚においてメロディーがもたらしている効果を検証した。
6. Wadaiko Performance Enhances Synchronized Motion of Mentally Disabled Persons (知的 障がい者の協調動作を促 す和太鼓パフォーマンス)	共著	2012年12月	Perceptual and Motor Skills No. 116-1, pp. 187-196	知的障がい者の和太鼓チーム活動における相互関係を演奏動作の分析、チームメンバーの気分調査により考察。
7. Effect of Long-term Music Training on Verbal Short Term Memory of Individuals with Down Syndrome (ダ ウン症者の言語短期記憶 における長期音楽トレー ニングの効果)	共著	2013年8月	日本特殊教育学会英 文誌 Journal of Special Education Research No2-1, pp. 35-41	ダウン症の特徴として言語短期記憶能力の低さがあげられるが、数唱復唱実験を行い、長期にわたって音楽(楽器)トレーニングを受けている者は、受けていない者に比べて有意に短期記憶能力が優れていることがわかった。
8. ダウン症児・者の身体 的不器用さと動作協調— ピアノ連弾を通して—	単著	2017年3月	小田原短期大学紀要 No. 47 pp. 203-208	ピアノ連弾課題において運動遂行のタイプが異なるダウン症児どうしが協調して演奏を遂行する場面で手指運動の速さ、正確さの調整が行われる様子を観察した。認知タイプと自発的な運動協調による調整、遂行について考察する。